

意識調査

1 10年後の県民生活のイメージについて

情報通信技術の活用により、いつでも必要な情報が入手・利用できる-----

企業の海外進出が進み、海外勤務の機会や外国人の社員が増えている-----

音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている-----

学術・科学技術、スポーツ、文化等の分野で、活躍する人が増えている-----

ボランティア、NPOなどによる市民活動が盛んになっている-----

環境にやさしいライフスタイルが定着している-----

北陸新幹線が開通し、観光客が増えるなど県内経済が活発になっている-----

基礎的教育の上に、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている-----

高齢者、障害者をはじめ、誰もが快適に暮らせる社会が実現している-----

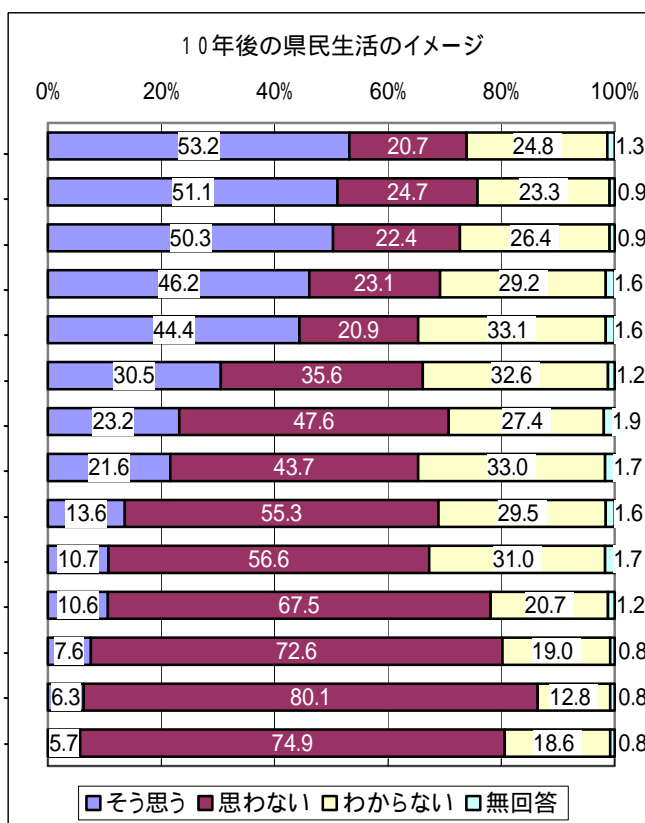
安心して働ける職場が確保されている-----

女性・高齢者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている-----

仕事と子育てを両立しやすい社会となり、少子化に歯止めがかかっている-----

年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる-----

犯罪が減り、安心して暮らせる社会となっている-----



(コメント)

10年後の県民生活のイメージについては、「情報通信技術の活用により、いつでも必要な情報が入手・利用できる」、「企業の海外進出が進み、海外勤務の機会や外国人の社員が増えている」などの項目が「そう思う」の上位を占めており、県民生活の中で情報化やグローバル化が一層進展すると考える人が多くなっている。

一方、「年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる」、「犯罪が減り、安心して暮らせる社会となっている」などの3項目において、7割以上の方が「思わない」と答えており、年金制度、安全・安心な生活などに対する現在の不透明感や不安感などを反映し、多くの方が将来に対して暗い見通しをもっている。

割合	「そう思う」という答えが最も多い項目	「そう思わない」という答えが最も多い項目
70%以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる</li> <li>犯罪が減り、安心して暮らせる社会となっている</li> <li>仕事と子育てを両立しやすい社会となり、少子化に歯止めがかかっている</li> </ul>
50%～70%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信技術の活用により、いつでも必要な情報が入手・利用できる</li> <li>企業の海外進出が進み、海外勤務の機会や外国人の社員が増えている</li> <li>音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性・高齢者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている</li> <li>安心して働ける職場が確保されている</li> <li>高齢者、障害者をはじめ、誰もが快適に暮らせる社会が実現している</li> </ul>
40%～50%未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術・科学技術、スポーツ、文化等の分野で、活躍する人が増えている</li> <li>ボランティア、NPOなどの市民活動が盛んになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線が開通し、観光客が増えるなど県内経済が活発になっている</li> <li>基礎的教育の上に、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている</li> </ul>